

## ◆院長 平川和男より新年のご挨拶◆

〈人工股関節の日帰り手術の実現に向けて〉

新年あけましておめでとうございます。

当センターは13回目のお正月を迎えます。開院当初は術後2週間での退院プログラムでスタート(当時の日本の平均入院期間は2か月以上)、10日、1週間、5日、3日と10年以上の歳月を要し短縮の努力をしてきました。日本全体ではいまだに1か月以上入院する施設が大部分です。これには病氣に対し、その種類や治療法を問わない手厚すぎる健康保険も影響しています。世界中どの人工関節専門施設でも1週間以下の入院という現実…日本は医療行為と入院期間に関し、かなり特殊です。先進国のアメリカや、現代人工関節発祥の地イギリスにおいては日帰り手術が20~40%をしめています。痛みと不安の管理、術前の患者教育、麻酔技術と薬剤の進歩、看護師と理学療法士の理解など多くの協力が必要です。日本でも世界に負けないよう、質が高く、コストパフォーマンスの良い医療を展開しなければなりません。患者さん方の中で日帰りを希望される方がおりましたら是非ご相談ください。本年も、一人でも多くの患者さんに合併症のない、早期回復を目指した、より高い技術で医療を提供していきたいと考えております。

## ◆総看護師長 工藤留理子よりご挨拶◆

新年あけましておめでとうございます。今年は平成30年となり、節目の年のような気がしてなりません。平成が始まった頃の私は看護師になったばかりで右も左もよくわからない、若さだけで突っ走っている感じていた。あれから30年様々な出会いや縁が今の私を作ってきたのだと改めて感じています。

成年は「作物を刈取りひとまとめにする」という意味があり「成長を促してくれる年」とも言えるようです。私も人工関節センターにきて5年目を迎えます。当院は手術実績8000件を超え新たな目標に向かって前進しています。それが関節の痛みや歩行、日常生活に困っていた患者さんが笑顔で帰れる姿につながると信じています。

これからも常に患者さんの目線に立った医療を実践できるように、スタッフ一同心をひとつにして頑張りたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

## ◆事務責任者 岡田直哉よりご挨拶◆

新年あけましておめでとうございます。当院は平成16年に開院し、今年で14年目を迎えます。開院当時はMIS手術(最小侵襲手術)ができる施設はほとんど日本にはありませんでしたが、日進月歩によりその普及が進み、現在ではMIS手術が可能な施設が多くなってまいりました。そのような状況下において、当院の特徴は早期回復・早期社会復帰を目的としたプログラムです。筋肉や腱をなるべく傷つけない手術手技、又、入院期間も3-5日と大変短いのが特徴です。このような短い期間で退院が可能な施設は現在日本ではほとんどありません。これも多くの症例に携わってきた医師・看護師・リハビリその他スタッフの確かな技術によるものと自負しております。そして今後の課題は「日帰り手術の実現」です。

本年も患者様の力となれるよう、診療技術のみならず患者様の声を取り入れた接客サービス向上にも力を注ぎ邁進していく所存です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 次回の公開医学講座のお知らせ

日時:平成30年1月11日(木)  
14:30~

場所:当院3F  
ラーニングセンター  
(施設見学含む)

講師:整形外科 医長  
名倉 誠朗

電話またはホームページにて  
要申込  
定員:30名

日時:平成30年1月26日(金)  
15:00~

場所:ウィリング横浜(上大岡)  
多目的室11階

講師:整形外科  
玉木 康信

電話またはホームページにて  
要申込  
定員:20名

### ▼発行元:

湘南鎌倉人工関節センター  
〒247-0061  
神奈川県鎌倉市台5-4-17  
電話:0467-47-2377  
FAX:0467-47-2370

### ▼2017年12月手術件数 (単位:件)

人工股関節置換術	46
人工膝関節置換術	0
人工股関節再置換術	1
その他	

▼1月外来休診日  
なし